

(商業実践専門課程 医薬サポート科メディカルサポートコース 平成31年度)

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次学期	授業コマ数	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業との連携
										講義	演習	実験実習実技	校内	校外	専任	兼任	
○				コミュニケーション基礎	自己を見つめ、自己の持ち味・価値観を築く	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				コミュニケーション応用	他者を容認し、必要な自分になるための行動力を培う	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				※ライフプランニング論	就職直前の知識と心構えを学ぶ	2後	15	27	2	○	△	○	○	○	○		
○				EQコミュニケーション	EQに気付き、関心を持ち、前向きな生活を送る姿勢を考える	2前	15	27	2	○	△	○	○	○	○		
○				ケア・コミュニケーション	ケアが必要な方へのコミュニケーション力の養成	2後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				ポジティブ理論	逆境をバネにする柔軟性などを学ぶ	2後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				ビジネス実務A	社会・企業から求められるビジネス能力の養成	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				ビジネス実務B	同上	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				基本マナーⅠ	サービスのために必要なマナーの習得	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				基本マナーⅡ	煎茶・華から情操・想像力の養成	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				栄養学	正しい食生活を実践する知識と能力の養成	2後	30	54	3	○	△	△	○	△	○	○	○
○				パソコン基礎A	Word基礎を学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				パソコン基礎B	Excel基礎を学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				コンピュータ概論	医療のIT化への対応知識を学ぶ	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				PP	プレゼンテーションの資料作りと発表能力の養成	2後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				POP	POP手書きの基礎を学ぶ	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				基礎ペン字	ボールペンの基本的書法習得	2前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				応用ペン字	応用書法・マナー習得	2後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				スポーツ健康学	健康な身体づくりと仲間との協調	1前	30	54	1			○	○	○	○		
○				アロマセラピー	身体・心のケアのための知識の習得	2前	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○	
○				ボディセラピー	フットリフレクソロジーの施術方法の習得	2前	30	54	1			○	○	○	○	○	
○				基礎学習講座	基礎的な人文・社会・自然科学分野の学習を行う	1	30	54	2	○	△	○	○	○	○		
○				就職支援講座	就職活動への心構えを構築し、準備を行う	1通	30	54	2	○	△	○	○	○	○		
	○			※ 総合学習講座	各科目の講義、演習を総合的・横断的に学習する	2後		0 0		○	△	△	○	△	○	○	
○				医療事務A	医科医療事務知識の習得	1前	75	##	4	○	△	○	○	○	○		
○				医療事務B	同上	1後	45	81	2	○	△	○	○	○	○		
○				医療事務C	調剤事務知識の習得	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				医療事務D	歯科医療事務知識の習得	2前	45	81	2	○	△	○	○	○	○		
○				歯科アシスタント	歯科助手の役割を学ぶ	2前	15	27	2	○	△	○	○	○	○		
○				医療秘書Ⅰ	医療秘書の役割を学ぶ	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				医療秘書Ⅱ	同上	2前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				医療概論	医療とは何かを学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				医療保障Ⅰ	医療保険制度を中心に医療費のしくみを学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				医療保障Ⅱ	介護保険法を中心に知識習得	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				基礎医学Ⅰ	解剖学・生理学の基本を学ぶ	1前	30	54	2	○	△	○	○	○	○		
○				基礎医学Ⅱ	臨床病理学・病態学の基本を学ぶ	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				基礎医学Ⅲ	同Ⅰ・Ⅱを深める	2前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				地域医療福祉	身近な地域の医療福祉を知る	2前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				医薬品Ⅰ	医薬品の基礎的・専門的知識の理解	1前	30	54	2	○	△	○	○	○	○		
○				医薬品Ⅱ	医薬品の有効成分の理解と応対力の習得	1後	30	54	2	○	△	○	○	○	○		
○				登録販売者総論Ⅰ	医薬品販売知識を深める	2前	45	81	4	○	△	○	○	○	○		
○				登録販売者総論Ⅱ	医薬品のまとめと実習体験をまとめる	2後	15	27	2	○	△	○	○	○	○		
○				化粧品アドバイザーⅠ	化粧品に基礎的・専門的知識の理解	2前	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				化粧品アドバイザーⅡ	化粧品の有効成分の理解と応対力の習得	2後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				患者看護概論Ⅰ	患者と疾患の理解を深める	2前	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○	
○				患者看護概論Ⅱ	同上	2後	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○	
○				手話	医療機関における手話の役割と知識を学ぶ	2後	15	27	1	○	△	○	○	○	○		
○				サービス介助基礎	ホスピタリティの心と実践を学ぶ	2前	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○	
○				医事コンピュータ	外来・入院診療の入力方法習得	1後	30	54	1			○	○	○	○		
○				インターンシップ	現場での職業体験	1後	40	72	1			○	○	○	○	○	
			○	※ 企業実習Ⅰ	内定前提での企業実習	2後		0 ~ 3				○	○				
			○	※ 企業実習Ⅱ	内定前提での企業実習	2後		0 ~ 3				○	○				
			○	※ 企業実習Ⅲ	内定前提での企業実習	2後		0 ~ 3				○	○				
○				卒業研究	深めたいテーマ選定から論文作成、発表	2後	120	##	4			○	○				
合計						54	科目	2097~2961単位時間(72~89単位)									

であるので、1単位時間(50分)換算

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	前・後期
	1学期の授業期間	15週

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	コミュニケーション基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	月1	301
担当者	松井秀夫・小林千恵		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>1. 第1～6回までの概要/目的 コミュニケーションとは、「話す・聞く・伝えあう」などをいいます。それらは、学生として、また社会人としての能力の基盤でもあります。コミュニケーション能力の基礎を理解し、その基礎を培う「SEQ」(Student Emotional Intelligence Quotient: 学生版『心の知能指数』)の理論により、コミュニケーション能力を高めるための手法を学びます。7回目からは、これまでの自分の言動をふりかえりながら、行動実践学テキストに沿って、自分のコミュニケーション能力や行動意欲を高めるトレーニングに取り組みます。企業や社会生活で、より良い人間関係を築いていけるように、自分らしい人とのかかわり方や適切な自己表現ができる力を身につけましょう。</p> <p>2. 目標検定・資格 なし 受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点 講義とグループワークを交えて授業を進めます。ワークは全員が参加で行いますので、「話す」「質問する」「チームで協力する」「チームに貢献する」態度を目標にしてください。また、授業中はもちろん、学校内やプライベートでも、「EQ」を開発する意欲を持ちましょう。</p> <p>4. テキスト ①1回～6回までは、毎回授業のポイントのレジュメを配布。SEQ受検後は「ハンドブック&ワークシート」を使用 ②7回以降、夢実現のための「実践行動学」を使用</p> <p>5. 成績評価の方法・基準 必要出席率80%以上必須、評価は期末課題レポートと授業態度(30%以内)で総合的に評価する。 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定</p>		No. 日付 授業内容		
		1	4/8	オリエンテーション(授業の目的)と自己紹介
		2	4/15	「SEQ」受検
		3	4/22	コミュニケーションとEQの関わりについて
		4	5/13	「SEQ」の「診断結果」・「HAND BOOK」・「WORK SHEET」の使い方。
		5	5/20	「EQI」による自己理解～自己の「強み」「課題」について理解する～
		6	5/27	1年生で開発したい「EQ素養」と「なりたい自分」像をつくる。(「EQ開発」のマイカレンダー作成)
		7	6/3	話しかけてみよう「座席表作りで友達を知る」
		8	6/10	聴く力、話す力、みんなで協力する力を高めよう!「インタビューゲーム」他己紹介
		9	6/17	上手に聴いてあげるための「傾聴」トレーニング
		10	6/24	夢と目標 「リソースマップ(自分地図)」で自己理解
		11	7/1	誤った思い込み 「サーカスの像やライオンは、なぜ逃げない?」
		12	7/8	行動のよりどころ 「わたしのやる気」はどこからくる?
		13	7/22	言い訳の3D 「わたしの思考パターン」
		14	7/29	5つのステップで「なりたい自分」を目標設定
15	8/2	期末課題& 「コンプリメント・シャワー」でフィードバック		
		評価 試験		

科名	おもてなしビジネス 科 医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	2D		
講義名	EQコミュニケーション		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水1	305	
担当者	松井秀夫・小林千恵		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	1	合同授業

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
1、概要 コミュニケーションとは、「話す・聞く・伝えあう」などをいう。それらは、学生としてそして社会人としての「働く能力」の基盤である。「EQコミュニケーション」は、1年次の「コミュニケーション基礎」の上にたつて、EQ理論をさらに活用してコミュニケーション能力開発の理論、スキルを学ぶ。2、目的 卒業を1年後に控える2年次では、就職活動の準備や社会人としての準備を確実に行っていかなければならない。コミュニケーション能力の習得はそのために重要な獲得能力の一つである。理論的な理解はもちろん、集団でのグループ討議なども通じての体験学習を行う一方、個々の[EQ]特性に合わせたコミュニケーション能力開発を進めていく。		No.	日付	授業内容
2. 目標検定・資格		1	4/10	オリエンテーション:授業の狙い
		2	4/17	「SEQ」受検
実施日		3	4/24	コミュニケーションとEQの関わり～1年生の振り返り～
3. 学習上の留意点		4	5/8	「SEQ」フィードバックと「EQ素養」の理解
★講義とグループワークを交えて授業を進める。講義では、「コミュニケーション」の構造の理解、向上のための手法を学ぶ。★グループワークでは、「コミュニケーション」の実践を学ぶ。★授業中はもちろん、学校内やプライベートでも、EQを発揮し、開発のためのトレーニングを実践すること。		5	5/15	個人フィードバックと自習①
4. テキスト		6	5/22	個人フィードバックと自習②
★毎回授業のポイントのレジュメを配布。SEQ受検後は「ハンドブック」「ワークシート」を使用。★参考図書:高山直 『「感じる力」の磨き方』(以上東洋経済新報社より出版)など。		7	5/29	「こんな「社会人」「職業人」になりたい」～EQ素養の課題の整理～
5. 成績評価の方法・基準		8	6/5	グループワーク「EQ素養」の開発計画をつくる
必要出席率80%以上必須、評価は期末課題レポートと授業態度(30%以内)で総合的に評価する。		9	6/19	グループワーク「EQ開発カレンダー」をつくる
A 総合評価 90点以上		10	6/26	「働く現場」のコミュニケーションでは何が大切か
B 総合評価 70点以上、90点未満		11	7/3	グループワーク「コミュニケーションスキルアップ」①
C 総合評価 60点以上、70点未満		12	7/10	グループワーク「コミュニケーションスキルアップ」②
D 総合評価 60点未満→単位不認定		13	7/17	仕事の能力と毎日の心構え
		14	7/24	13回までの振り返りと期末課題の準備
		15	7/31	期末課題レポート
		評価試験		

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	ビジネス実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	金1	305
担当者	岩崎 純人		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>現代の社会や企業から求められるビジネス能力の養成をはかる。 就職活動に対応できるレベルの能力養成。 入社後すぐに活躍できるスキルの育成。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>ビジネス能力検定 ジョブパス 3級</p> <p>受験対象 全員</p> <p>実施日 後期</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>授業はさまざまなグループワークを導入した展開とするので、積極的な参加が不可欠となります。まずはクラスメイトとコミュニケーションを取ることに慣れ親しんでください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>2019年度 B検 ビジネス能力検定 ジョブパス 3級 公式テキスト (日本能率協会マネジメントセンター)</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 期末試験60%未満は再試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※再試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/12	専門学校生に求められる能力
		2	4/19	何のために働くの？
		3	4/26	仕事の基本となる8つの意識
		4	5/10	職場のコミュニケーション
		5	5/17	ビジネスマナーの基本 ～就業中のマナー～
		6	5/24	指示の受け方と報告・連絡・相談
		7	5/31	話し方の基本 感じの良い言葉遣い
		8	6/7	敬語の使い方 ①
		9	6/14	敬語の使い方 ②
		10	6/21	来客対応
		11	6/28	面談の基本マナー
		12	7/5	訪問の基本マナー ①
		13	7/12	訪問の基本マナー ②
		14	7/19	訪問の基本マナー ③
15	7/26	会社関係でのつき合い		
		評価 試験		

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	基本マナー I (ビジネスマナー)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水2	203	
担当者	小林 千恵		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>年齢や立場の異なる多くの人が共に働く職場にあって、気持ち良く効果的に仕事をするためには、お互いを思いやり、勘違いや誤解をなくし、意思疎通を図るコミュニケーションが必要です。相手を思いやる気持ちを形にして共通の意識で行うことが、「社内ルール」や「ビジネスマナー」です。</p> <p>本講義では基本的なビジネスマナーや接客マナーを学習し、体現できる力を身に付けていきます。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/10	ビジネス・接客サービスの基本	
		2	4/17	サービススタッフの資質	
		3	4/24	サービススタッフに求められる行動	
		4	5/8	対人技能・接客知識	
		5	5/15	対人技能・接客の言葉づかい、敬語	
		6	5/22	対人技能・感じのよい話し方と聞き方	
		7	5/29	実務技能・電話応対	
		8	6/5	実務技能・電話応対	
		9	6/19	実務技能・受付のマナー(応対編)	
		10	6/26	実務技能・案内のマナーPART1	
		11	7/3	実務技能・案内のマナーPART2	
		12	7/10	実務技能・茶菓のマナー	
		13	7/17	一般知識・社会常識	
		14	7/24	専門知識・サービス業用語	
15	7/31	期末試験(理解度テスト)			
2. 目標検定・資格					
		受験対象			
実施日					
3. 学習上の留意点					
<p>ロールプレイングを実施します。</p> <p>グループワークも導入しますので積極的に自分の意見を発言するようにしてください。</p> <p>また、理解した内容はグループで確認し(グループ内全員が理解できるよう教えあう)コミュニケーションをとるようにしてください。</p> <p>また小テストを行いますので、都度復習を行いましょう。</p>					
4. テキスト					
<p>都度プリントを配布します。とじ込み用のファイルとノートを用意してください。</p>					
5. 成績評価の方法・基準					
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>					
		評価試験			

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	パソコン基礎 I (Word)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	木3	203	
担当者	坂口和江		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	演習	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)						
<p>業務においてExcelと並び多く活用されているのがWordです。 本講義では、公的資格試験であるコンピュータサービス技能評価試験(CS検定)のワープロ2級(実務レベル)合格を目指します。 パソコンの授業は、聴く力と練習量で確実に身に付きます。復習と入力練習を自己学習でも取組み、確実に合格を目指してください。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <table border="1"> <tr> <td>コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級</td> <td>受験対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全員</td> </tr> </table> <p>実施日 2019 /8/5~8/8</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>1回、1回の講義内容が濃密です。欠席した部分を改めて補う時間は取れません。健康に留意し、遅刻・欠席の無いように心がけてください。また、テキストとUSBは必ず持参してください。 なお、自宅での学習なども並行すると学習結果が大きく異なりますので、復習時間をできるだけ作ってください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>九州文化出版 CS技能評価試験 受験対策練習問題集 ワープロ部門2級</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、検定試験結果60%未満は、 追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※検定試験結果の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級	受験対象		全員	No.	日付	授業内容
		コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級	受験対象					
			全員					
		1	4/18	検定試験概要 ドリル:文字入力、文字編集、10分入力				
		2	4/25	10分入力 ドリル:書式設定、インデント、段組				
		3	5/9	10分入力 ドリル:作表				
		4	5/16	10分入力 ドリル:図形				
		5	5/23	10分入力 Wordの基本設定~課題2				
		6	5/30	10分入力 課題2				
		7	6/6	10分入力 課題2				
		8	6/13	10分入力 課題2				
		9	6/20	10分入力 課題3				
		10	6/27	10分入力 課題3				
		11	7/4	10分入力 課題3				
		12	7/11	検定対策・模擬問題①				
13	7/18	検定対策・模擬問題②						
14	7/25	検定対策・模擬問題③						
15	8/1	検定対策・模擬問題④						
		評価 試験						

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	2D		
講義名	基礎ペン字		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	月1	305	
担当者	岡澤 由香		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>情報化社会の今だからこそ、手書きの文字は皆さんの人間性や感情を率直に表し、心からの気持ちを臨場感のある情報として伝える優れたツールとなり得ます。</p> <p>この授業では、翌年に社会に出て、すぐに役立つ硬筆の基本的な書法を学び、ビジネス題材に於いての実践練習を重ねます。</p> <p>特に前期は美しい履歴書の作成に重きを置いた基礎重点の授業構成とし、社会人として是非知っておきたい書法のマナー等も合わせて学習します。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/8	自分の字を知ろう！ 現在の實力診断&字のタイムカプセル作成	
		2	4/15	ひらがなの単体① 美文字はまずひらがなから	
		3	4/22	ひらがなの単体②	
		4	5/13	ひらがなの応用	
		5	5/20	カタカナ・数字のポイント	
		6	5/27	漢字・部首と字形の整え方① 美文字には法則がある！	
		7	6/3	漢字・部首と字形の整え方②	
		8	6/10	漢字・部首と字形の整え方③	
		9	6/17	漢字・部首と字形の整え方④	
		10	6/24	漢字かな交じり文・漢数字	
		11	7/1	履歴書対策① 美しい名前のポイント	
		12	7/8	履歴書対策② 住所のポイント	
		13	7/22	履歴書対策③ 頻出用語・実践練習	
		14	7/29	履歴書対策④ 封筒・ハガキの表書き	
15	8/2 (金)	前期試験			
2. 目標検定・資格					
無		受験対象			
実施日					
3. 学習上の留意点					
授業中だけでなく、日常生活の中でも、意欲的&積極的に、学習意識ある文字を書く姿勢を求めます。					
4. テキスト					
ボールペン字 実用練習帳 和田康子 成美堂出版					
5. 成績評価の方法・基準					
出席率80%以上 単元毎に小課題提出					
A 総合評価 90点以上					
B 総合評価 70点以上、90点未満					
C 総合評価 60点以上、70点未満					
D 総合評価 60点未満→単位不認定					
※毎時間の課題の評価に、意欲・理解力・授業態度(睡眠・おしゃべり・携帯)等を加味し、きちんと学習している学生が正しく評価されるよう、総合的に判断します。					
※追試については80%の点数をもって、C評価とします。					
評価試験					

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	スポーツ健康学		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	前期	金3・4	施設
担当者	島田 涉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>食べ物から摂取したエネルギーと運動により消費したエネルギーがバランスよく保たれていることが健康の為に良い状態です。しかし食べる量は変わらず、運動を行わないと摂取エネルギーが消費エネルギーを上回り、使われなかったエネルギーは脂肪としてからだに蓄えていきます。将来、このような説明ができるようになるためには、自ら経験することによって、より説得力を身につける。仲間と協調することで地域共創力につながるコミュニケーション力を身につける。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>服装については、特に色・デザイン等の指定はないが、運動に適したジャージ類、トレーナー・スウェット類、Tシャツなどを着用すること。</p> <p>体育館や競技場は毎回変わります。</p> <p>4. テキスト</p> <p>参考にして欲しい本や文献に関しては、授業において紹介する</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須。 授業参加への積極性と協調性から評価を行う。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/12	履修内容についてのガイダンス(HR教室)
		2	4/19	サンマリーンながの室内運動場 可能種目(テニス、フットサル)
		3	4/26	サンマリーンながの室内運動場 可能種目(テニス、フットサル)
		4	5/10	サンマリーンながの室内運動場 可能種目(テニス、フットサル)
		5	5/17	芹田体育館 (バレーボール、バスケ、バドミントン、卓球、)
		6	5/24	芹田体育館 (バレーボール、バスケ、バドミントン、卓球、)
		7	5/31	芹田体育館 (バレーボール、バスケ、バドミントン、卓球、)
		8	6/7	会場:未定
		9	6/14	会場:未定
		10	6/21	会場:未定
		11	6/28	会場:未定
		12	7/5	会場:未定
		13	7/12	会場:未定
		14	7/19	会場:未定
15	7/26	まとめ(HR教室)		
		評価 試験		

科名	医薬サポート科 おもてなしビジネス科	コース名	全コース	学年・クラス	2D		
講義名	アロマセラピー		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	火2	405	
担当者	飯田 泰子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>自分自身の健康には自分自身で責任を持ち、病気にならないための予防が重要視される現代において、体と心双方のケアに有用であるアロマセラピーの知識を身に付けることで自分のみならず、「人を思いやり、癒せる心」を育てること。また、アロマを通して、「自然環境」を大切に思う心を養う。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>JAAアロマコーディネーター アロマ検定1・2級</p> <p>受験対象 希望者</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>実習をしてクラフトをつくります。が、理論の理解の上になつての実習です。講義をよく聴き、正しい使用方法を理解するように勤めてください。 想像している以上に内容は深いです。実習ばかりでなく講義にも積極的に参加しましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>平青学園出版アロマコーディネーター講座</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/9	アロマセラピー概論 (西洋医学と自然療法・アロマの必要性) ★手浴
		2	4/16	精油の抽出法(抽出部位・抽出方法・特徴類以説) ★バスソルト 100g
		3	4/23	香りの歴史(アロマセラピーの歴史)
		4	5/7	精油のブレンド法(キャリアの種類とブレンド計算性) ★トリートメントオイル 50ml
		5	5/21	精油の体への影響(オイルトリートメント・オイルの種類) ★トリートメント実技
		6	5/28	精油の脳への影響(脳の構造と臭覚のしくみ) ★みつろうクリーム 20cc
		7	6/4	精油の心理作用(香りの精神作用とメンタルケア) ★エアーフレッシュナー 30ml
		8	6/11	精油の成分(精油の安全性・禁忌・成分)
		9	6/18	アロマの実践と法令(実務に関わる法令) ★ローション 50cc
		10	6/24	ソープカービング (直線の彫り方 ダリアⅠ)
		11	7/2	ソープカービング (直線の彫り方 ダリアⅡ)
		12	7/9	ソープカービング (ひまわり)
		13	7/16	睡眠の正体(睡眠障害とアロマによるケア) ★ボディーシャンプー 50cc
		14	7/23	免疫力と病気の予防(循環器のケアと免疫系の働き) ★マウスウォッシュ 20ml
15	7/30	理解力試験(ノート参照可)		
		評価試験		

科名	医薬サポート科 おもてなしビジネス科	コース名	全コース	学年・クラス	2D	
講義名	ボディセラピー		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	前期	木1・2	4/18:405 222
担当者	丸田 好美		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・実	1
					備考	

1. 講義の概要と目的	リラクゼーション分野でのフットリフレクソロジーの施術方法を習得すると共に、概論や解剖生理学の講義では、全般的な人体知識を得る。		6. 講義計画(シラバス)			
2. 目標検定・資格	リフレクソリスト(平青学園)	受験対象 全員	No.	日付	授業内容	
実施日	2019/8/1		1	4/18	オリエンテーション 概論講義 解剖生理学講義	
3. 学習上の留意点	実習は相互実習の形態となり、生徒同士お互いに施術を行うことにより、人体への関心を高め、また、人に対する思いやりや優しさを持って授業に臨んでいただきたい。		2	4/25	フットリフレクソロジー実技練習	
4. テキスト	ナチュレボディスクール発行 「ボディセラピー ベーシックレッスン」		3	5/9	フットリフレクソロジー実技練習	
5. 成績評価の方法・基準	出席率80%必須 期末試験(認定試験)60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上90点未満 C 総合評価 60点以上70点未満 D 総合評価 60点未満 * 期末試験の点数(60%)に、検定合格・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 * 追試については80%の点数をもって、C評価とする		4	5/16	フットリフレクソロジー実技練習	
			5	5/23	フットリフレクソロジー実技練習	
			6	5/30	フットリフレクソロジー実技練習	
			7	6/6	フットリフレクソロジー実技練習	
			8	6/13	フットリフレクソロジー実技練習	
			9	6/20	フットリフレクソロジー実技練習	
			10	6/27	フットリフレクソロジー実技練習	
			11	7/4	ボランティアで代替	
			12	7/11	フットリフレクソロジー実技練習	
			13	7/18	フットリフレクソロジー実技練習	
			14	7/25	フットリフレクソロジー実技練習	
			15	8/1	試験	
			評価 試験			

科名	医薬サポート科 おもてなしビジネス科	コース名	全コース	学年・クラス	2D
講義名	基礎学力講座 SPI対策	回数	期間	曜日・時限	教室
		30	1年	木4	301
担当者	鈴木詩郎	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			必修	講・演	2
				備考	

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
昔から「読み書きそろばん」と言われるように、言葉や計算の基礎知識は人が社会生活を営む上で必要不可欠な能力であり、「生きる力」の基盤となるものです。この講座では基礎学力や社会常識の定着を図り、就職活動で力を最大限に発揮できるよう支援するとともに自ら考える力の育成を目指します。	授業日	コマ	計画	
2. 目標検定・資格 なし 実施日 なし 3. 学習上の留意点 ①得意な領域を伸ばし、苦手な分野を克服する姿勢と意志を失わないこと。 ②テキストや問題演習帳を繰り返し解いて、各ジャンルの問題形式に慣れ、解答速度を上げる。③分からない問題は、中学、高校の教科書を見直したり、人に聞いたりして、基礎基本の確認を怠らないこと。	7月5日	1	講座オリエンテーション・一般常識	
	7月12日	1	言語分野:同義語	
	7月19日	1	言語分野:対義語	
	7月26日	1	言語分野:二語の関係(包含関係・行為関係)	
	9月13日	1	言語分野:二語の関係(原料関係・用途関係)	
	9月20日	1	非言語分野:計算・数的問題(基礎確認)	
	9月27日	1	非言語分野:計算・数的問題(距離・速度)	
			1	非言語分野:計算・数的問題(距離・時間)
	10月4日	1		
	10月11日	1	非言語分野:計算・数的問題(塩水問題)	
	10月18日	1	非言語分野:計算・数的問題(確率)	
	10月25日	1	中間試験	
	11月1日	1	言語分野:敬語基礎	
	11月15日	1	言語分野:敬語応用	
	11月22日	1	言語分野:敬語演習	
	11月29日	1	非言語分野:計算・数的問題(仕事算)	
12月6日	1	非言語分野:計算・数的問題(流水算)		
12月13日	1	非言語分野:計算・数的問題(分割算)		
1月10日	1	非言語分野:計算・数的問題(代金の精算)		
1月17日	1	問題演習・確認試験		
4. テキスト				
『最強のSPI攻略1000題』	4月18日	1	言語分野:ことわざ・慣用句・四字熟語	
配布プリント集	4月25日	1	言語分野:語句の意味	
5 成績評価の方法・基準	5月23日	1	非言語分野:論証問題(命題・判断推理)	
①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・・90点以上、B・・70点以上、C・・60点以上、D・・60点未満。	5月30日	1	非言語分野:論証問題(集合)	
	6月13日	1	非言語分	
	6月20日	1	非言語分	
	6月27日	1	総合試験	

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	就職支援		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	火1	301
担当者	清水・柳澤泉・小林		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
					備考	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
以下の順で就職への心がまえをつくり、就職活動の準備をしていきます。 ①就職活動の前準備 ・自分を知る ・就職活動に必要な基礎的能力を身に付ける ・基本的な職業理解 ・就職活動の概要を理解する ②職業・企業に関する情報を集める ③情報を分析する ④職業を決定し会社を決定する ⑤内定を勝ち取る		No.	日付	授業内容
2. 目標検定・資格		1	4/9	オリエンテーション EQと人間力
なし	受験対象	2	4/16	※2限→1限に変更、全科合同 職業観・就業観1(就職支援室)
実施日		3	4/23	※2限→1限に変更、全科合同 求められる人材とは
3. 学習上の留意点		4	5/7	※2限→1限に変更、全科合同 職業理解1(事務)
連続した授業ですので、100%の出席を目指してください		5	5/21	※2限→1限に変更、全科合同 職業理解3(営業・販売)
4. テキスト		6	5/28	※2限→1限に変更、全科合同 職業理解4(IT関連))
就職ノートファイル 必要に応じてプリントを配布		7	6/4	職業観・就業観2(OHBY-CARD・グループワーク)
5. 成績評価の方法・基準		8	6/11	職業理解まとめ(レポート)
必要出席率80%以上必須、評価は課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。 ※やむを得ず欠席した場合、授業内容に応じた課題を提出		9	6/18	自己分析1/VPI職業興味検査
A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定		10	6/25	自己分析2/キャリアインサイト
		11	7/2	自己分析3/モチベーションアップ1
		12	7/9	※2限→1限に変更、全科合同 就活セミナー(就職支援室)
		13	7/16	県内企業・県内業界の研究
		14	7/23	企業研究
		15	7/30	※2限→1限に変更、全科合同 新聞の読み方(信毎)
		評価試験		

科名	医薬サポート	コース名	メディカルサポート	学年・クラス	1メディカル	
講義名	医療事務 A		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			75	前期	月2・3、木1・2、金2	505
担当者	滝澤 幸子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	4

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>医療事務の重要な仕事である医療費の請求を、診療報酬明細書(レセプト)の作成を中心に実習しながら学びます。</p> <p>電子カルテの導入で、手書きのレセプトを作成する医療機関は現在ほとんどありませんが、電子化に関わらず基本の算定や保険知識などは必要となります。実際の現場でも使用されている「診療報酬点数早見表」の利用方法も同時に学びます。</p>	<p>後期11月に検定試験となるため、4～11月で仕上げます。</p> <p>オリエンテーション 医療請求事務の基本 診療報酬明細書(レセプト)の基礎知識 点数算定とレセプトの書き方 点数算定の原則 診察料 医学管理料 在宅医療 投薬 注射 処置 リハビリテーション 手術 麻酔 検査 画像診断 精神専門療法 放射線治療</p>		
2. 目標検定・資格			
<table border="1"> <tr> <td>医科医療事務管理士</td> <td>受験対象 全員</td> </tr> </table>	医科医療事務管理士	受験対象 全員	
医科医療事務管理士	受験対象 全員		
実施日	2019/11/22		
3. 学習上の留意点	以上についての理解と外来レセプト作成を進捗状況に応じて実施していきます。		
<p>専門用語が並んで初めは難解かもしれませんが、慣れていきますので積極的に臨んでください。講義→練習問題→講義→練習問題を繰り返して習得できるようにしていきますので、100%の出席を目指して、コツコツ実力をつけていきましょう。</p>			
4. テキスト			
<p>医科テキスト3冊セット 医科サポートブック 診療報酬点数早見表ほか</p>			
5. 成績評価の方法・基準			
<p>席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする</p>			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2メディカル		
講義名	医療事務D (歯科・医療秘書検定対策)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			45	前期	月4、火3、水3	405	
担当者	塚原 実佳 滝澤 幸子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	3	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)				
医療事務員の仕事の一分野として歯科医院勤務も視野に入ります。そこで、歯科診療報酬制度の仕組みをレセプト作成で学び「歯科医療事務管理士」資格取得をめざします。		No.	日付	授業内容		
実際の業務においてはドクターがカルテに記入することがほとんどですが、ドクター・歯科衛生士のアシスタントをするにあたって診療の流れを知ることも大切なことです。		1	4/8月	医療秘書2級過去問題		
第62回医療秘書検定2級(6月8日)に向けた対策講座も実施します。		2	4/9火	医療秘書2級過去問題		
2. 目標検定・資格		3	4/10水	授業概要 試験について 歯の知識P9名称(竹内)		
医療秘書検定2級(6月7日)	受験対象	4	4/15月	根間数 歯の知識復習 (竹内)		
歯科医療事務管理士(7月27日)		5	4/16火	歯の知識 (竹内)		
実施日 2019/7/27		6	4/17水	基本診療科まとめ 特掲診療科 医学管理		
3. 学習上の留意点		7	4/22月	医療秘書2級過去問題		
慣れない語句や記号などで戸惑うことも多いと思いますが、基本的に口の中のことで限られている内容なので、流れが理解できれば全体を把握できるようになります。練習問題を自主的に行うなど積極的に取り組んで下さい。医療秘書については2級合格に向けて、復習と問題集に取り組み、就職に向けて現場を想定した業務や場面も学ぶ。		8	4/23火	特掲診療料(在宅医療・投薬)		
4. テキスト		9	4/24水	特掲診療料(投薬・画像診断)		
歯科医療事務テキスト 基礎編・応用編	全員	10	5/7火	特掲診療料(画像診断・処置・手術・)		
歯科サポートブック ほか		11	5/8水	特掲診療料まとめ		
医療秘書2級過去問題集		12	5/13月	医療秘書2級過去問題		
医療事務教材一式		13	5/15水	歯冠修復(充填・インレー・金属冠)概要		
5. 成績評価の方法・基準		14	5/20月	歯冠修復(充填)算定方法		
出席率80%以上必須、検定試験60%未満は、追試		15	5/21火	歯冠修復(インレー・金属冠)算定方法		
A 総合評価 90点以上		16	5/22水	歯冠修復(インレー・金属冠)算定方法		
B 総合評価 70点以上、90点未満		17	5/27月	医療秘書2級過去問題		
C 総合評価 60点以上、70点未満		18	5/28火	歯髓疾患(Pul)概要・歯周疾患(Per)概要		
D 総合評価 60点未満		19	5/29水	歯髓疾患(Pul)算定方法・歯周疾患(Per)算定		
※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		20	6/3月	医療秘書2級過去問題		
※追試については80%の点数をもって、C評価とする		21	6/4火	歯髓疾患(Pul)算定方法・歯周疾患(Per)算定		
		22	6/5水	疾病による算定		
		23	6/10月	医療秘書2級 自己採点		
		24	6/11火	疾病による算定・歯周疾患(P)の概要		
		25	6/17月	歯周疾患(P)の算定方法		
		26	6/18火	歯周疾患(P)の算定方法		
		27	6/19水	ブリッジ(Br)概要		
		28	6/24月	現場業務の心構え①		
		29	6/25火	ブリッジ(Br)算定方法		
		30	6/26水	ブリッジまとめ 有床義歯の概要		
		31	7/1月	有床義歯の算定方法		
		32	7/2火	有床義歯の算定方法		
		33	7/3水	その他算定方法		
		34	7/8月	点検問題		
		35	7/9火	試験問題取組		
		36	7/10水	"		
		37	7/16火	"		
		38	7/17水	"		
		39	7/22月	現場業務の心構え②		
		40	7/23火	"		
		41	7/24水	"		
		42	7/29月	検定問題解説		
		43	7/30火	現場業務の心構え③		
		44	7/31水	現場業務の心構え④		
		45	8/2金	現場業務の心構え⑤		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2メディカル
講義名	歯科アシスタント	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	前期	水4	405
担当者	竹内 麻莉	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
		有	必修	講・演	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>歯科診療を円滑に進めるための歯科助手の役割を学びます。歯科治療の基礎を学び、流れを理解することにより、歯科アシスタント検定2級合格を目指します。</p> <p>2. 目標検定・資格 歯科アシスタント検定2級 (全国医療技能検定協議会)</p> <p>受験対象 全員</p> <p>実施日 2019/7/24</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>歯科アシスタントは、診療室で歯科医師や患者さんに接し、歯科診療が円滑に行われるよう行動する重要な役割を担っています。授業では、歯科治療の流れや使用器材を1つ1つ理解していきましょう。</p> <p>4. テキスト ステップアップ 歯科助手ガイドブック(第2版) 一般財団法人 口腔保険協会</p> <p>5. 成績評価の方法・基準 出席率80%以上必須、課題評価60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※課題評価の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/10	第3章 口腔と歯の知識と主な歯科疾患 口の中の構造と名称 歯の構造と名称 主な歯科疾患	
		2	4/17	第1章 歯科助手の役割 歯科医院の仕事分担 設備 歯科助手の仕事 歯科助手としての心構	
		3	4/24	第4章 歯科疾患を予防する口腔清掃法 第5章 消毒と滅菌 消毒と滅菌とは 器械・器材について 院内感染の防止	
		4	5/8	第6章 歯科X線 X線撮影法 X線フィルムの種類 現像方法 第7章 歯科麻酔	
		5	5/15	第2章 診療補助の基本 歯科診療の流れと歯科助手の役割 患者誘導 診療補助の実際(フォーハンドシステム) 歯科材料薬品とその管理	
		6	5/22	第8章 保存修復(レジン修復、ガラスイオノマー修復、インレー修復) 治療の流れと使用器材	
		7	5/29	第11章 歯内療法 治療の流れと使用器材	
		8	6/5	第9章 歯冠修復(クラウン修復、ブリッジ修復) 治療の流れと使用器材 印象材、合着用セメント、石膏の取り扱い	
		9	6/12	第10章 有床義歯 義歯の種類 義歯作製の流れと使用器材 義歯の取り扱い	
		10	6/19	第12章 歯周治療 歯周病の原因 歯周病の進行度 歯周治療の流れと使用器材	
		11	6/26	第15章 口腔外科(抜歯) 治療の流れと使用器材	
		12	7/3	過去問題取り組み	
		13	7/10	過去問題取り組み	
		14	7/17	期末試験	
15	7/24	検定試験			
		評価試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2メディカル	
講義名	医療秘書Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	月3	405
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
				必修	講義	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
AIが医療事務の仕事を行うと言われる今だからこそ、卓越したコミュニケーション能力を備えた医療秘書の存在は重要視されます。 前半は、6月8日に実施される医療秘書技能認定試験合格に向け、過去問題から【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関連法規】について強化していきます。		No.	日付	授業内容
		1	4/8	第49回問題実施と解答・解説 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関連法規】
2. 目標検定・資格		2	4/15	第50回問題実施と解答・解説 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関連法規】
		3	4/22	第51回問題実施と解答・解説 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関連法規】
第62回 医療秘書技能検定試験 2級 実施日 2019年6月8日(土)		4	5/13	第52回問題実施と解答・解説 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関連法規】
		5	5/20	第53回問題実施と解答・解説 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関連法規】
3. 学習上の留意点		6	5/27	第54回問題実施と解答・解説 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関連法規】
就職をにらみ将来の自分につながることを意識しながら積極的に授業に臨んで下さい。また、日常生活の中でも、意欲的&積極的に、医療秘書として学習意識ある姿勢を求めます。		7	6/3	第55回問題実施と解答・解説 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関連法規】
		8	6/10	第62回 医療秘書技能検定試験 解答と解説
4. テキスト		9	6/17	卒業生の体験記 II
		10	6/24	接遇・マナー
医療秘書<建帛社> 医療秘書検定実問題集2級①②<つちや書店> プリント		11	7/1	仕事と感動
		12	7/8	思うは招く
5. 成績評価の方法・基準		13	7/22	SNSへの不適切な投稿
出席率80%以上 単元毎に小課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※毎時間の課題の評価に、意欲・理解力・授業態度(睡眠・おしゃべり・携帯)等を加味し、きちんと学習している学生が正しく評価されるよう、総合的に判断します。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とします。		14	7/29	卒業生の体験記 III
		15	8/2 (金)	まとめ
		評価試験		

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	医療概論		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水4	505	
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>1.目まぐるしく変化する医療の中で満足した職業意識を持ち続ける為に、自己啓発の心掛けと、幅広い医療・医学の知識を柔軟に受け入れ理解する必要がある。早期に職業観を持つ事を目的とする。</p> <p>2.病める人を単に病気だけでなく総合的に理解できるような医療従事者を目指すために、暖かく相手の身になって考える心が必要であることを理解し、病める人にとっての必要な医療とは何かについて学ぶ。</p> <p>3.医療施設・医療を支えている職種を知る。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>医療秘書検定(医療事務コース) 受験対象 登録販売者(薬剤販売コース) 全員 実施日 秘書11/9(土)登販 2020. 9</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>授業は意欲的に参加し、日頃から医療・医学に関わる話題などはチェックする。別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。</p> <p>4. テキスト</p> <p>改訂 医療概論(建帛社)プリント</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/10	医学用語 1~4 医学の歴史 紀元前の医療 陰陽五行説 ガレノス
		2	4/17	医学用語 5~9 医学の歴史 ヴェサリウス インフォームドコンセント、セカンドオピニオン
		3	4/24	医学用語 10~13 医学の歴史 パレ 山脇東洋 杉田玄白 ハンター ジェンナー
		4	5/8	医学用語 14~16 医学の歴史 華岡青洲 麻酔の歴史 コミュニケーション について 死亡順位
		5	5/15	医学用語 17~20 医学の歴史 フランツ・シーボルト
		6	5/22	医学用語 21~24 病気の定義 血行障害による病変 進行性の変化 退行性の変化 腫瘍の良性と悪性の区別
		7	5/29	医学用語 25~28 医学の歴史 コッホ、北里柴三郎、レントゲン、アスピリン、 ラントシュタイナー 病気の原因
		8	6/5	医学用語 29~32 診察の種類 さまざまな検査 原因療法と対症療法 薬物療法 麻酔 リハビリテーションの種類 予防医学
		9	6/19	医学用語 33~36 プライマリケア ターミナルケア 緩和ケア 末期患者の問題とニーズ 緩和ケアと尊厳
		10	6/26	医学用語 37~40 医学の歴史(野口英世) 医療法と医療提供施設 病院と診療所
		11	7/3	医学用語 41~44 病院の開設者別分類 特定機能病院 地域医療支援病院 広告の 制限 医療法人 診療録の保管
		12	7/10	医学用語 45~50 医薬品の授業を実施
		13	7/17	医薬品の授業を実施
		14	7/24	医薬品の授業を実施、および、まとめ
15	7/31	期末試験		
		評価 試験		

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	医療保障Ⅰ		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水3	505	
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>日本では国民の誰もが必要な時に適切な医療を受ける権利を保障するために様々な制度が創設されています。</p> <p>特に、医療機関(調剤薬局を含む)で取り扱う機会の多い医療保険制度を重点に、「健康保険制度」「後期高齢者医療制度」、「公費負担医療制度」、「労働者災害補償保険制度」を学び、医療機関の受付に必要な知識を学びます。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/10	民法と保険診療の関係 ①医療保険制度ってなんだろう？
		2	4/17	②医療保険にはどんな種類がある？
		3	4/24	保険料の負担 ③医療保険にはどんな種類がある？
		4	5/8	年齢・所得で違う給付率と患者負担 償還払い
		5	5/15	④医療保険が使えない場所ってどんなとき？ 保険外併用療養費
		6	5/22	⑤公費負担医療制度
		7	5/29	⑥労働者災害補償保険制度
		8	6/5	⑦高額療養費制度
		9	6/19	日本の医療費 医療費上昇理由と対策および今後の課題
		10	6/26	私たちの住む町の医療機関はどのように配置され、それぞれがどのような関りをもって いるのか担当を決めまとめる。(内科、外科、
		11	7/3	”
		12	7/10	”
		13	7/17	発表
		14	7/24	⑧医療保険制度まとめ 社会保険について 日本の医療保険 医療 保険のしくみ
15	7/31	期末試験		
2. 目標検定・資格				
関連の検定は、「医療事務」 「調剤事務」		受験対象 全員		
実施日				
3. 学習上の留意点				
医療関連機関で働くものとして知らなければいけない知識です。新しい名称が多く、覚えることは大変ですが、現場ですぐ必要な知識です。				
積極的に授業に参加し知識を深め、人に伝えられるようにして下さい。				
4. テキスト				
改訂 医療概論(建帛社) プリント				
5. 成績評価の方法・基準				
出席率80%以上必須、期末試験60%未満 は、追試				
A 総合評価 90点以上				
B 総合評価 70点以上、90点未満				
C 総合評価 60点以上、70点未満				
D 総合評価 60点未満				
※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。				
※追試については80%の点数をもって、C評価とする				
評価試験				

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	基礎医学Ⅰ		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			30	前期	月4、火3	505	
担当者	島田 涉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	2	

1. 講義の概要と目的	医療関係従事者、医療界に關与する人たちは、基本的な解剖と、生理(身体の構造と働き)について十分な知識をもっていることが求められるため、解剖生理学に關連補足を取り入れ知識を深める。		6. 講義計画(シラバス)			
2. 目標検定・資格	医療秘書検定(メディカルサポートコース)	受験対象	No.	日付	授業内容	
	登録販売者(両コース)	全員	1	4/8	・細胞・染色体	
実施日	秘書11/9(土)登販 2020. 9		2	4/9	・組織・神経系の区分・脳脊髄膜・中枢神経の全体像	
3. 学習上の留意点	授業は意欲的に参加し、解剖生理学部門は、ノートに取りまとめることが大切です。別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。日常生活においても身体の各部分の名称や働きを意識する。		3	4/15	・大脳機能局在・脳神経・脊髄神経・自律神経の働き	
4. テキスト	改訂 基礎医学(建帛社)		4	4/16	・眼球の構造 ・目の主な病気	
5. 成績評価の方法・基準	出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		5	4/22	・耳 ・これまでの復習	
			6	4/23	・心臓(構造、働き、刺激伝導系、循環)	
			7	5/7	・心拍数と血圧・心臓の疾患・動脈と静脈	
			8	5/13	・毛細血管・リンパ系 ・循環器テスト	
			9	5/20	・循環器テスト解説・血液の組成・血液成分・血漿	
			10	5/21	・血液(血漿、赤血球、白血球①)	
			11	5/27	・白血球②・血小板・凝固系と線溶系	
			12	5/28	・血液の凝固・血液型	
			13	6/3	・貧血について ・血液テスト	
			14	6/4	・血液テスト解説 ・骨①(全身骨格など)	
			15	6/10	・骨②(頭部の骨、椎骨、骨の疾患、関節)	
			16	6/11	・筋系	
			17	6/17	・腎臓・尿路の形態と機能	
			18	6/18	・腎・泌尿器系の病態 ・腎臓テスト	
			19	6/24	・内分泌系(フィードバック機構、視床下部、下垂体、甲状腺)	
			20	6/25	・内分泌系(副甲状腺、膵臓、副腎、卵巣、精巣)	
			21	7/1	・内分泌系の疾患 ・内分泌テスト	
			22	7/2	・呼吸器系①(解剖、構造と機能、肺炎)	
			23	7/8	・呼吸器系②(肺癌、気胸) ・呼吸器系テスト	
			24	7/9	・消化器系①(機械的消化と科学的消化)	
			25	7/16	・消化器系②(唾液腺、肝臓、膵臓)	
			26	7/22	・口腔内の疾患、食道の疾患、胃の疾患、腸の疾患	
			27	7/23	・肝炎、肝硬変、肝がん、脂肪肝、胆石症、膵炎、膵臓がん	
			28	7/29	・消化器スケッチ	
			29	7/30	・生殖器系 ・まとめ	
			30	8/2(金)	・期末試験	
			評価試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2メディカル		
講義名	基礎医学Ⅲ		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	火4	405	
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>1年間実施してきた、解剖学(人体の仕組み)、生理学(身体の構造と働き)、病態生理学(病気のメカニズム)、免疫学、検査学、薬理学の総まとめになる。さらなる知識を深めて医療秘書技能認定試験2級合格を目指す。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>第62回 医療秘書技能検定試験</p> <p>受験対象 全員</p> <p>実施日 2019年6月8日(土)</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>フリップ形式の一問一答を実施し、答えを書くことによって、知識を身に付けます。モチベーションを高く検定に臨んで下さい。別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。</p> <p>4. テキスト</p> <p>改訂 基礎医学(建帛社) 医療秘書技能検定実問題集2級(土屋書店) プリント</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/9	医学英語(臓器) 医療秘書2級問題 文章問題(循環器) ②領域問題 10問	
		2	4/16	医学英語(バイタルサイン) 文章問題(消化器官・肝疾患) ②領域問題 10問	
		3	4/23	医学英語(病名) 文章問題(腎泌尿器疾患・内分泌・代謝疾患)	
		4	5/7	医学英語(症状・病名) 文章問題(糖尿病・感染症) ②領域問題 25問	
		5	5/21	②領域問題 25問	
		6	5/28	②領域問題 25問	
		7	6/4	⑤領域問題 25問	
		8	6/11	消化器官Q&A	
		9	6/18	呼吸器官Q&A	
		10	6/24	循環器官Q&A	
		11	7/2	泌尿器系Q&A	
		12	7/9	感覚器官Q&A	
		13	7/16	運動器官Q&A	
		14	7/23	脳や神経系Q&A	
15	7/30	期末試験			
		評価	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2メディカル	
講義名	地域医療福祉		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	金3	405
担当者	滝澤 幸子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
				必修	講・演	15

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>社会問題が山積する現代、少子高齢化・人口減少・医療・介護・福祉問題を中心に、自分たちが暮らす地域の問題点に向き合います。</p> <p>さらに、医療機関スタッフ・患者・一住民としての立場から、将来地域がどうあるべきかを想定し、それに向けて自分たちは何をすべきか、何ができるかを考え、社会のなかでの自分自身の在り方を考えていきます。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/12	インターンシップ報告会	
		2	4/19	現代日本の社会問題	
		3	4/26	医療に関わる問題	
		4	5/10	福祉に関わる問題	
		2. 目標検定・資格	5	5/17	発表、グループワーク
			受験対象		
		実施日	6	5/24	発表、グループワーク
		3. 学習上の留意点	7	5/31	地域の問題点①
		自分ごととしてと捉え、将来を見据えた提案や行動につなげていきますので、幅広い視点から建設的な態度で取り組んでください。	8	6/6 (木)	地域の問題点②
			9	6/14	地域の問題点③
		4. テキスト	10	6/21	グループワーク
		プリント	11	6/28	身近な取り組み①
		5. 成績評価の方法・基準	12	7/5	身近な取り組み②
		出席率80%以上必須	13	7/12	身近な取り組み③
授業態度・レポート・発表内容等で総合的に評価します。	14	7/19	身近な取り組み④		
	15	7/26	発表・まとめ		

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	医薬品 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			30	前期	火2、水1	302	
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	2	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>登録販売者とは、ドラッグストアや薬局などで、かぜ薬や鎮痛剤などの副作用のリスクが比較的低い一般用医薬品の販売ができる医薬品販売専門の医療系国家資格です。この公的な資格をクラス全員で合格を目指します。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/9	卒業生の進路状況、アスピリン、医薬品の本質	
		2	4/10	サリチル酸系解熱鎮痛成分、医薬品のリスク評価	
2. 目標検定・資格		3	4/16	アセトアミノフェン、健康食品、副作用	
		4	4/17	イブプロフェン、認識不足・目的以外での不適正な使用、相互作用、飲み合わせ	
登録販売者	受験対象	5	4/23	イソプロピルアンチピリン、小児への配慮	
	全員	6	4/24	リゾチーム、小児・高齢者・妊婦・授乳婦への配慮、医療機関で治療を受けている人等への配慮	
実施日	2020年/9月	7	5/7	セミアルカリプロテイナーゼ/プロメライン、プラセボ効果、医薬品の品質、適切な医薬品選択と受診勧奨	
3. 学習上の留意点		8	5/8	トラネキサム酸、薬害(サリトマイド、スモン、CJD)	
<p>医薬品の知識、特に薬効などは正確に覚えるためにも反復学習は必ず実施して下さい。自身の専門性のやりがいや、楽しさを理解し把握する時期ですので、受講にあたっては、積極的な参加を希望します。</p> <p>指定の教科書は授業の際、必ず持参すること。</p>		9	5/15	グリチルリチン酸、カンゾウ、薬害(HIV)	
		10	5/21	第一章まとめ 第一章テスト 全身作用と局所作用	
4. テキスト		11	5/22	抗ヒスタミン成分 薬の生体内運命①	
登録販売者研修テキスト(薬事日報社ド・モ)プリント		12	5/28	抗コリン成分 薬の生体内運命②	
登録販売者過去問題集		13	5/29	アドレナリン作動成分 薬の体内での働き	
5. 成績評価の方法・基準		14	6/4	抗ヒスタミン成分、抗コリン成分、アドレナリン作動成分のまとめ 剤型ごとの違い、適切な使用方法	
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		15	6/5	麻薬性・非麻薬性鎮咳成分 ショック 重篤な皮膚粘膜肝機能障害	
		16	6/11	気管支拡張成分(アドレナリン作動成分) 偽アルドステロン症	
		17	6/18	気管支拡張成分(キサンチン系成分) 精神神経障害 無菌性髄膜炎 消化性潰瘍 イレウス様症状 間質性肺炎	
		18	6/19	喘息、鬱血性心不全、不整脈、排尿困難、眼圧上昇、散瞳、接触皮膚炎、光線過敏症 薬疹	
		19	6/25	去痰成分 問題集(副作用) 脳	
		20	6/26	カフェイン 自律神経系	
		21	7/2	眼 鼻 耳	
		22	7/3	皮膚 骨 関節	
		23	7/9	循環器系	
		24	7/10	ジフェンヒドラミン塩酸塩 泌尿器系 呼吸器系	
		25	7/16	ブロムワレリル尿素 アリルイソプロピルアセチル尿素 人体の構造と働き 口腔 舌 唾液腺 咽頭 食道	
		26	7/17	胃 小腸 膵臓	
		27	7/23	胆嚢 肝臓 大腸 肛門	
		28	7/24	第2章 まとめ	
		29	7/30	期末まとめ	
		30	7/31	期末試験	
		評価			
		試験			

科名	医薬サポート科	コース名	全コース			2D
講義名	登録販売者総論 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			45	前期	月2、火1、水2	302
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	4

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)
<p>医薬品についての基礎的・専門的知識を理解し、医薬品販売知識を深める。 医薬品、薬の働き、各制度、健康などについて説明のできる本物の登録販売者を目指します。 登録販売者試験、悔いが残らないよう支援するのがこの講義の目的です。</p>	<p>第3章 ・主な医薬品とその作用(1年次からの続き)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 婦人薬 2 内服アレルギー用薬(鼻炎用内服薬を含む) 3 鼻に用いる薬 4 眼科用薬 5 皮膚に用いる薬 6 歯や口中に用いる薬 7 禁煙補助剤 8 滋養強壮保健薬 9 漢方処方製剤・生薬製剤 10 公衆衛生用薬 11 一般用検査薬 <p>第4章 ・薬事関係法規・制度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 薬事法の目的 2 医薬品の分類・取扱い 3 医薬品の販売業の許可 4 医薬品販売に関する法令遵守 <p>第5章 ・医薬品の適正使用・安全対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医薬品の適正使用情報 2 医薬品の安全対策 3 医薬品の副作用等による健康被害の救済 4 一般用医薬品に関する主な安全対策 5 医薬品の適正使用のための啓発活動 <p>登録販売者試験対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人体の解剖と機能 2 薬の働くしくみと副作用 3 医薬品の知識 <p>4/8(月)ウエルシア薬局(業界の動向と会社説明会) 4/17(水) マツモトキヨシ会社説明会</p> <p>* 5/14(火) レクリエーション * 6/12(水) レクリエーション</p>
2. 目標検定・資格	
登録販売者	受験対象 全員
実施日 2019.9月	
3. 学習上の留意点	
<p>医薬品の知識、出題頻度の高い項目やポイントは、正確に覚えるためにも反復学習は必ず実施して下さい。 問題集は常日頃が実施し、完全にマスターするようにして下さい。 別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。</p>	
4. テキスト	
登録販売者研修テキスト(薬事日報社ド-モ) 過去問題集 プリント	
5. 成績評価の方法・基準	
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試</p> <p>A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合格・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>	

科名	医薬サポート科	コース名	全コース			学年・クラス	2D
講義名	化粧品アドバイザー I		回数	講義期間	曜日・時限		教室
			15	前期	金 1		302
担当者	滝澤 幸子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
				必修	講・演	15	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>化粧品の良し悪しを評価するのではなく成分や働きを理解し、目的にあった使い方ができるようになることを目指します。間違いがちな化粧品や美容の知識のほか、皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方などを習得していきます。</p> <p>医療機関やドラッグストアなど、就職後に活躍の幅を広げられるほか、自分自身の役立つ知識にもつながります。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/12	間違いがちな美容知識①
		2	4/19	間違いがちな美容知識②
		3	4/26	皮膚の構造
		4	5/10	皮膚のしくみと働き
		5	5/17	皮膚の機能
		6	5/24	肌の手入れと正しい知識①
		7	5/31	肌の手入れと正しい知識②
		8	6/7	メイクアップ①
		9	6/14	メイクアップ②
		10	6/21	肌悩みに応じた対処①
		11	6/28	肌悩みに応じた対処②
		12	7/5	肌の手入れと正しい知識①
		13	7/12	肌の手入れと正しい知識②
		14	7/19	日本化粧品検定3級受験
15	7/26	期末試験		
2. 目標検定・資格				
日本化粧品検定3級 (11月に2級受験予定)	受験対象			
	全員			
実施日	2019/11/24			
3. 学習上の留意点				
<p>3級・自分の知識を正す 2級・肌に適した化粧品の選び方を習得 1級・化粧品の専門家を目指す 授業では2級の取得となりますが、希望があれば1級「コスメコンシェルジュ(あらゆる肌悩みに対し最適な化粧品を選び出せるプロ)」の受験にもつなげることができます。</p>				
4. テキスト				
日本化粧品検定2・3級テキスト 日本化粧品検定2・3級問題集				
5. 成績評価の方法・基準				
<p>出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする</p>				

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2メディカル	
講義名	患者看護論 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	木3	405
担当者	畠山 仁美		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
医療チームの一員としての看護補助業務と役割を理解し、患者への基本的対応の仕方を身につける。		No.	日付	授業内容
		1	4/18	1 医療・福祉専門職の実践的対応 ① 患者のニーズと医療専門職
2. 目標検定・資格 看護助手実務能力検定試験		2	4/25	② 援助過程と障害の受容
		3	5/9	2 障害者の生活課題と福祉・リハビリ ① 社会福祉と権利擁護
実施日 2019/11/9(土)		4	5/16	医療タイムス主催患者対応(接遇)セミナー 長野市生涯学習センター(トイゴ)4階 受付13:30～ 時間14:00～16:30
3. 学習上の留意点 テキストを中心に学習する 振り返り小テスト実施		5	5/23	② 社会福祉と幸福追求権 ③ 障害と生活環境
4. テキスト 看護助手実務能力認定試験公式テキスト 患者・看護論		6	5/30	3 患者の自己実現と社会福祉教育 ① 患者・家族支援とソーシャルワーク
5. 成績評価の方法・基準 出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		7	6/6	地域医療を実施
		8	6/13	② ノーマライゼーションと社会福祉 4 職業倫理について
		9	6/20	5 看護サービス提供のしくみ ① 保健・医療・福祉サービスとは
		10	6/27	② 医療サービス提供チーム
		11	7/4 3時限目	人体の解剖生理学 ①骨格・筋肉
		12	7/4 4時限目	人体の解剖生理学 ②臓器
		13	7/11 3時限目	障害の理解
		14	7/11 4時限目	疾病の理解
		15	7/18 3時限目	期末試験
		評価試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2メディカル	
講義名	患者看護論Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期・後期 (7月～10月)	木1・2	405
担当者	畠山 仁美		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)						
医療チームの一員としての看護補助業務と役割を理解し、患者への基本的対応の仕方を身につける。		No.	日付	授業内容				
		1	7/18 (木) 4時限目	第3章リスクマネジメント				
		2	7/25 (木) 3時限目	第4章薬物の知識				
		3	7/25 (木) 4時限目	障害の理解				
		4	9/12 (木) 1時限目	老化の理解				
		2. 目標検定・資格		5	9/12 (木) 2時限目	第5章ターミナルケア		
		看護助手実務能力検定試験	受験対象	6	9/19 (木) 1時限目	【基本技術】 第1章ボディメカ		
		実施日	2019/11/9(土)			第2章生活環境に関わる業務		
		3. 学習上の留意点		7	9/19 (木) 2時限目	コミュニケーション技術		
		テキストを中心に学習する 振り返り小テスト実施		8	9/26 (木) 1時限目	第3章日常生活に関わる業務		
				9	9/26 (木) 2時限目	1 安全安楽に関する介助 2 移動・移乗に関する介助		
				10	10/3 (木) 1時限目	3 食事に関する介助 4 口腔ケア		
		4. テキスト		11	10/3 (木) 2時限目	5 着替えの介助		
		看護助手実務能力認定試験公式テキスト 患者・看護論		12	10/10 (木) 2時限目	6 身体の清潔に関する介助		
		5. 成績評価の方法・基準		13	10/17 (木) 2時限目	7 排泄に関する介助		
出席率80%以上必須、期末試験60%未満 は、 追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		14	10/24 (木) 2時限目	振り返り				
		15	10/31 (木) 2時限目	期末試験				
		評価 試験						

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	2D		
講義名	サービス介助基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	金2	305	
担当者	坂口 和江		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>ホスピタリティの心をどのように実践すればよいのかを”ユニバーサルサービス基本テキスト”により学びます。</p> <p>”ユニバーサルサービス”を学ぶことは、公共機関、交通機関、商業店舗や観光施設などでのあらゆる接客・接遇の場面にとどまらず、日々の生活や地域の活性化にも役立ちます。</p> <p>講義の中では、必要とされる知識や気づき、意識を学び、実際に体験すること(疑似体験)を通じて知識を確実なものにしていきます。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/12	Part1 1章～2章. ユニバーサルサービスの基本	
		2	4/19	Part1 3章 サービスにおける接遇 ※ユニバーサルデザインとは	
		3	4/26	Part2 視覚に不自由を感じる方へのサービス	
		4	5/10	【疑似体験】 視覚障がい疑似体験、接客体験	
		5	5/17	身体障害者補助犬法を知る (ビデオ鑑賞) 小レポート(1-2単元)	
		6	5/24	Part3 聴覚に不自由を感じる方へのサービス	
		7	5/31	Part4 肢体に不自由を感じる方へのサービス	
		8	6/7	【研修】 あいサポート研修	
		9	6/14	【疑似体験】 車椅子体験、接客体験 小レポート(3-4単元)	
		10	6/21	Part5 高齢者・認知症がある高齢者へのサービス	
		11	6/28	【疑似体験】 高齢者体験	
		12	7/5	Part6 お客様に応じたサービス	
		13	7/12	【疑似体験】 妊婦体験	
		14	7/19	小レポート(5-6単元)	
15	7/26	サービス介助基礎検定試験			
5. 成績評価の方法・基準		評価試験			
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、授業態度・小レポートなど(40%)を加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>					
3. 学習上の留意点					
<p>さまざまな人がいるということ、他人事としてではなく、自分や家族に置き換え授業に臨んでください。”おもてなしの心”と”介助技術”を学び、ホスピタリティをもって対応できる資格の取得を目指します。</p>					
4. テキスト					
ユニバーサルサービス基本テキスト					
2. 目標検定・資格					
サービス介助基礎検定(公益財団法人 日本ケアフィット共育機構)	受験対象 全員				
実施日	2019/7/26				